縦葺屋根 アルアピア

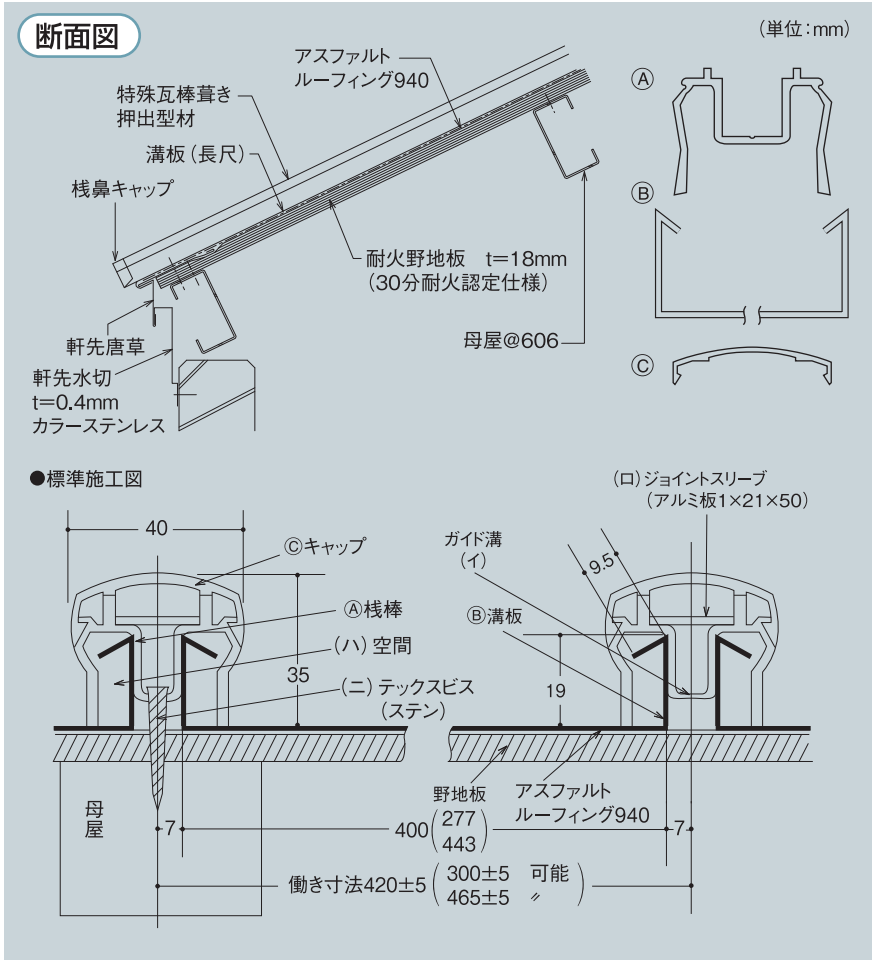
穏やかなアール屋根の表情を多彩に描く縦葺き屋根です。

特長

桟棒ひとつで多彩な意匠が描ける、アルミ形材の縦葺き屋根システム。

- アルミ合金なので自由な形状に押出し加工ができ、外壁材にも使用可能です。
- 強度に優れた押出し形材の桟棒による嵌合式工法を採用。また、耐食性にも優れ、海岸地域でも安心です。
- 丸型、三角形、四角形など多彩な形状が可能です。縦葺きでもご要望に合わせて流麗なラインが演出できます。
- ガチャ締めが必要ないため、屋根材に傷がつかない簡単施工。金属屋根からの葺き替えやソーラーシステムなどの組み合わせに簡単に対応します。

断面図



Ⓐ桟棒　Ⓒキャップはアルミ押し出し形材、電解着色(特注：フッ素塗装)Ⓑ溝板はカラーアルミ0.4～0.8m/m(カラーステンレス、フッ素樹脂鋼板、ガルバリウム鋼板等あります。板厚はご相談ください。)

施工順序

(1)野地板(木毛セメント板)の上に防水紙(アスファルトルーフィング)を敷き込む。(母屋間隔@455@606)
(2)割り付け(墨出しは屋根の働きに依り異なります)
(3)Ⓑ溝板を並べ、Ⓐ桟棒を左図の標準施工図(ハ)の空間にセットする。
(4)桟棒の(イ)ガイド溝から(ニ)テックスビス(ステンレス製)にて締めつける。〈注:ビス止メの際のジョイント部は左図のように(ロ)ジョイントスリーブ(アルミ板t=1.0×W21×ℓ50)を嵌め込みシーリング材を充填する。〉
(5)ⒸキャップをⒶ桟棒に嵌合する。
(6)仕舞にⒶ桟棒の先端には桟鼻キャップを取付ける。
(7)その他の納まりは、長尺瓦棒工法と変わりません。